

1・2年生 そり教室

10日（金）、聖高原スキー場のご配慮により、スキーゲレンデを開放していただき、お陰様で1・2年生の皆さんがそり遊びを満喫することができました。初級者コースとはいえ、距離もたっぷり斜度もそこそこで、スピードがのってくるのかなりの迫力を味わうことができます。はじめのうちは、やや怖がって慎重だった子どもさんも、回数を重ねるうち大胆さが増して、ダイナミックに滑り降りていくようになりました。1回滑り終わるとそりを



背負ってゲレンデを登るのですが、とにかく元気、元気。疲れをまったく見せずに繰り返し滑っていました。子どもたちの体力、本当にすごいものがあります。午前中めいっぱい滑って、お腹ぺこぺこで帰ってきました。

その前日には、麻績保育園の皆さんのそり遊びが行われたそうです。身近に立派な施設があり、冬の遊びを幼い頃から楽しむことができる、麻績は恵まれた土地がらですね。

雪に恵まれず

暖冬ですね。出勤しようと自家用車を見ると、フロントガラスには霜もなく、すぐに運転を始めることができます。わたしのような高齢者には過ぎやすくありがたいのですが、子どもたちにとっては楽しみにしていたスキー教室ができずで、力があり余っているのではないかと少々心配です。降雪の気配がまだまだ感じられず、今週どころか来週に予定されている2回目の教室でさえ危ぶまれます。何とか1回は思い切り滑らせてあげたいと願うものの、自然相手では無力を痛感させられます。

3年生以上の保護者の皆様におかれましては、教室中止にともない、お弁当をご準備いただきありがとうございました。お忙しい折に恐縮ですが、来週予定の教室についてもこの状況では実施がかなり厳しく思えます。重ねてのご協力の程、何とぞよろしくお願いいたします。

選挙管理委員会の発足

児童会選挙管理委員会が発足しました。2年度児童会の役員選挙を推進する役割を担う皆さんです。

もう、そんな時期となりました。これまで麻績小学校を支えてきてくれた令和元年度児童会から、次の世代への橋渡しが始まります。



5年生の皆さんは、いよいよ自分たちが麻績小学校児童会の中心となることが現実味を帯びてきて、誰がその中心となるか、どんな児童会を作っていくことができるか、自分の役割は何か、など不安もありながら、でもそれは希望や意欲に満ちていることでしょう。大いに期待しています。

けれど、金管バンドの世代交代を目の当たりにしてきたことと同様に、わたしにはやはり寂しさをとまいません。このことから6年生の巣立ちが、

また一歩近づいていることを実感させられます。

さて、全校の皆でつくりあげる児童会ではありますが、そのリーダーを選出する大切な選挙であることに違いありません。ここで、その選挙を正しく進める役

目を引き受けようと考えた委員の皆さんの気持ちもとても尊いです。しばらくは忙しい日々かと思いますが、役員選挙の終わりまでどうぞよろしく。



各学年廊下展示「書き初め」

冬休みが明け、子どもたちが休み中に取り組んだ作品が、各学年廊下（教室室内も）に展示されています。書き初め作品を見させてもらっていると、子どもさんが取り組んだあしあとが感じ取れて、わたしはまた元気になれます。そして、自分の子どもの頃のちゃらんぼらんさが恥ずかしく思い出されます。お家の方の励ましや支えもあるからなのでしょうね。ありがとうございます。麻績の子ども皆、とても立派です。

